

—— 申 込 要 領 ——

◎受講費……大阪工研協会会員 } 12,300 円
 協賛団体会員 }
 学 生 5,000 円 } テキスト、消費税含む
 一 般 20,500 円 }

◎定 員…… 100名(申込先着順)

◎申込〆切日…… 平成30年12月3日(月)

◎申 込 方 法…… 下記申込書に必要事項を明記のうえお申し込みください。

〒536-8553 大阪市城東区森之宮 1-6-50

(地独)大阪産業技術研究所 森之宮センター内

大阪工研協会講習会事務局 TEL 06-6962-5307 FAX 06-6963-2414

E-mail:info@osakaira.com http://www.osakaira.com

◎送 金 方 法…… 現金書留または三菱東京 UFJ 銀行今里北支店「大阪工研協会講習会事務局」

普通預金口座(口座番号 0979828)へ

◎参 加 証…… 受講費払込みと同時に発行いたします。

お申込みいただいたお名前等の個人情報は、受講確認および今後の講習会ご案内以外の目的には使用いたしません。

特別セミナー 人生100年時代に向けた製品開発：第2弾
 —化粧品および健康食品を中心に—

平成 30 年 月 日

受 講 申 込 書

(会員資格は必ずご記入ください。)

社 名	(連絡担当者)	会 員 資 格	大 阪 工 研 協 会 <input type="checkbox"/> 協 賛 団 体 会 員 <input type="checkbox"/> 学 生 <input type="checkbox"/> 一 般 <input type="checkbox"/>
所 在 地	〒		
T E L			
F A X			
E m a i l			
受 講 費	円 × 名 分 =	円	
受 講 者 氏 名	所 属 (部 課 名)		
送 金 方 法	<input type="checkbox"/> 現金書留 <input type="checkbox"/> 銀行振込	請 求 書	<input type="checkbox"/> 要 <input type="checkbox"/> 不 要

特別セミナー

人生 100 年時代に向けた製品開発：第 2 弾

—化粧品および健康食品を中心に—

平均寿命が延びるに伴い、健康をいかに維持し、いかに過ごすかが注目されています。肉体的にも精神的にも豊かな生活を送り、人生を楽しむ製品開発が年々増えてきています。本セミナーでは、昨年に引き続き玉石混淆の製品開発の中で、信頼のおけるエビデンスに裏打ちされた化粧品と健康食品に焦点を当て、この分野の第一線でご活躍の研究者の方々にご講演いただきます。

超高齢化社会においては、アンチエイジング医学・予防医学の理念に基づき、疾病の予防・改善と QOL の向上を目的とした健康食品（サプリメント）や化粧品の開発をさらに進め、全世代を通じていつまでも若々しく健康な生活ができるエイジレス社会が望まれています。平均寿命と共に健康寿命が延びれば、超高齢化でも健やかで幸せな社会を実現することができます。

本セミナーでは、さまざまなアンチエイジングや健康維持に向けた製品開発の中で、この分野の第一線でご活躍の研究者の方々にご講演をいただきます。研究開発に従事しておられる研究者、技術者はもとより企画・営業開発に携わっておられる方々にも、今後の仕事の参考になり、また活用していただけるものと考えております。

ぜひ、この機会に多数ご受講いただきますようご案内申し上げます。

と き 平成30年12月11日(火) 9:30~16:35

と ころ (地独) 大阪産業技術研究所 森之宮センター

(〒536-8553 大阪市城東区森之宮 1丁目6-50)

地下鉄中央線あるいは長堀鶴見緑地線森ノ宮駅下車(4番出口)またはJR環状線森ノ宮駅下車、東へ300m、都市再生機構を北へ300m、森之宮小学校北隣(徒歩10分)

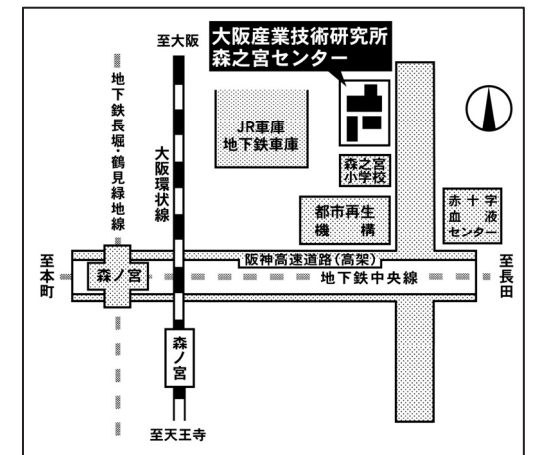
主 催 (一社) 大阪工研協会

(http://www.osakaira.com)

後 援 (地独) 大阪産業技術研究所

(https://orist.jp/)

協 賛 日本化粧品技術者会



—— セミナー内容 ——

◎ 腸内環境研究、機能成分研究から機能性表示食品の開発まで

..... (9:30～10:40)

森下仁丹(株) ヘルスケア研究開発部 川上宏智

弊社の社名にもなっている「仁丹」は、今から110年以上も前に創業者である森下博が「病気は予防するものである」という考えの下に開発した、いわば今日の予防医学、先制医療の考えのさきがけとなる画期的な製品であった。現在もその思想を受け継ぎ、腸内環境研究、天産物に含まれる機能成分の研究を進め、それらを応用した製品を世に送り出すことにより、人々の健康な生活に貢献することを目指している。その研究、製品開発事例の一端をご紹介します。

◎ 化粧品用機能性油剤の開発事例

..... (10:50～12:00)

日本精化(株) 化粧品事業本部 化粧品研究開発部 清水透

日本精化(株)では、機能性油剤・生理活性物質・リン脂質複合体などの化粧品原料の開発を行っている。一般的に化粧品用油剤は、スキンケア・ヘアケア・メーキャップ化粧料等の基剤として広く配合されているが、一方で油剤により高い機能性を求める動きも活発である。本講演では、皮膚及び毛髪への有効成分の浸透促進作用と有効性向上、ラメラ液晶形成、毛髪ダメージ改善といった機能を持つ化粧品用油剤について紹介する。

◎ 超高齢社会に向けた還元型コエンザイム Q10 の取り組み

..... (12:45～13:55)

(株)カネカ Pharma & Supplemental Nutrition SV 藤井健志

日本は全人口の21%超が65歳以上の超高齢社会であり、二つの社会的な問題が指摘されている。一つは団塊の世代が後期高齢者になり認知症患者が急激に増加する2025年問題であり、もう一つは高齢者人口がピークに達し社会保障費が最大化する2040年問題である。セミナーではこれらの問題に対する還元型コエンザイム Q10 を用いた“食”からの取り組みについて述べる。

◎ 皮膚洗浄剤における機能成分滞留技術の開発

..... (14:05～15:15)

ライオン(株) 研究開発本部 ビューティケア研究所 水野義隆

生活者がボディソープに求める機能として保湿効果が挙げられる。しかし、これまでは「洗浄」が基本機能であるため、保湿成分を配合してもほとんどが洗い流されてしまい、実感の高い保湿効果を付与することは困難であった。一方シャンプーは、すすぎ時にアニオン性界面活性剤とカチオン性高分子の複合体を形成し、毛髪へ高い吸着性を示すことでなめらかさ等の感触を付与している。そこで、この技術に着目しボディソープへ応用展開することで、新たに保湿実感を高める「皮膚滞留技術」を獲得したので紹介する。

◎ 茶カテキン、コーヒークロロゲン酸の健康機能 (15:25～16:35)

花王(株) 開発研究第2セクター ヘルスケア食品研究所 安永浩一

緑茶およびコーヒーは、様々な生理機能が報告されている。我々は、メタボリックシンドロームの予防、改善に着目し、これら飲料の主要ポリフェノールである茶カテキンおよびコーヒークロロゲン酸の効果をヒトおよび動物試験で検証した。本講演では、1) 脂質代謝の亢進、2) 内臓脂肪の減少、3) 抗肥満効果の作用機序解析、4) その他の健康効果、を紹介する。これらポリフェノールの継続摂取は、脂質代謝を高める効果を通じて内臓脂肪を減少させ、メタボリックシンドロームの予防に貢献すると考えられる。